

電験三種「法規」の正誤(○×)チェックにチャレンジ

いよいよ**貴方**の出番の「電験オリンピック」です。日頃の成果をそのまま出せばよいので、あせらず「マイペース」で臨んでください。個人総合メダルは無理でも、最低限、種目別（**科目メダル**）を狙いましょう！

今回は「法規」の学習状況をチェックする正誤問題 20 問を準備しました。

全 20 問、次ページの答を見ずに正誤（○×）を試みてください。

法規のチェック問題

問 No	設 問	正誤
1	保安規程の作成届出：計画段階で届け出なければならない。	
2	500 k W以上の自家用電気工作物：第一種電気工事士のみ工事ができる。	
3	電気工事業の登録：1 都道府県のみ営業所を設置→都道府県知事の登録	
4	電気用品の輸入業者：事業開始日から 30 日以内に経済産業大臣へ届出る。	
5	小出力発電設備：太陽電池発電設備は 20 k W未満が該当する。	
6	電圧の種別：低圧は直流 600 V以下、交流 750 V以下である。	
7	絶縁耐力試験：多心ケーブルは心線相互間と心線一大地間の試験がある。	
8	絶縁抵抗：単相 3 線式 100/200[V]の絶縁抵抗値は 0.2 [MΩ] 以上であること。	
9	爆発性のガスのある地中箱：すべて通風装置を施設しなければならない。	
10	高圧屋内配線工事：原則はケーブル工事で、乾燥した場所および展開した場所で人が触れる恐れがないように施設する場合はがいし引き工事でもよい。	
11	氷雪の多い地方で、低温季に最大風圧を生じる地方：低温季には甲種または丙種のうち大きい方の風圧荷重を適用する。	
12	支線の引張荷重＝許容引張荷重×安全率 である。	
13	計器用変圧器の二次側の接地：特別高圧と高圧はD種接地工事とする。	
14	避雷器の施設：特別高圧電線路から電気の供給を受ける引込口には必要。	
15	方向性地絡保護装置付き P A S を施設すれば、もらい事故が防げる。	
16	電力用コンデンサに直列リアクトルを設けるのは高調波対策である。	
17	負荷率＝ $\frac{\text{最大需要電力の総和}}{\text{合成最大需要電力}}$ である。	
18	変圧器の全日効率が最大になる条件は、鉄損＝銅損のときである。	
19	遮断器の開放後に断路器の開放を行い、遮断器の投入後に断路器を投入する。	
20	流込み式水力や大容量火力発電所はベース供給力として長時間の継続運転ができる。	

法規の解答

全20問中、×となるものについて正しい答を示しておきます。
間違えた問題は、周辺知識を調べなおして補強しておきましょう！

問 No	正しい答	正誤
1	保安規程は、電気工作物の使用の開始前に届け出なければならない。	×
2	第一種電気工事士は、500 kW未満の自家用電気工作物の工事ができる。	×
3		○
4		○
5	太陽電池発電設備は50 kW未満が該当する。(改正されている！！)	×
6	低圧は直流750V以下、交流600V以下である。	×
7		○
8	対地電圧150V以下であるので、絶縁抵抗値は0.1 [MΩ] 以上であること。	×
9	通風装置などの施設が必要なのは大きさが1 m ³ 以上のものである。	×
10		○
11	低温季には甲種または乙種のうち大きい方の風圧荷重を適用する。	×
12		○
13	特別高圧はA種接地工事、高圧はD種接地工事とする。	×
14	特別高圧架空電線路から電気の供給を受ける需要場所の引込口には必要。	×
15		○
16		○
17	不等率 = $\frac{\text{最大需要電力の総和}}{\text{合成最大需要電力}}$ である。	×
18	鉄損電力量 = 銅損電力量のときである。	×
19	遮断器の開放後に断路器の開放を行い、断路器の投入後に遮断器を投入する。	×
20		○

最後に一句 「受験者がひと花咲かす日は来たり」